

2021年2月上旬発売・刊行案内
アート (デザイン理論) ご担当者さまへ

★武蔵野美術大学出版局★

TEL 0422-23-0810 東京都武蔵野市吉祥寺東町3-3-7

FAX 0422-22-8309 <http://www.musabi.co.jp/>

読者対象

デザインとは何かを知りたい人、デザイン哲学に興味のある人、パウハウスをはじめとする近代デザイン運動に関心のある人、自然科学(生命)とデザインのつながりに興味のある人、ゲーテのファン、身ぶりや身体論に興味のある人、デザイナー、美大生へ向けて。

形象の記憶 デザインのいのち

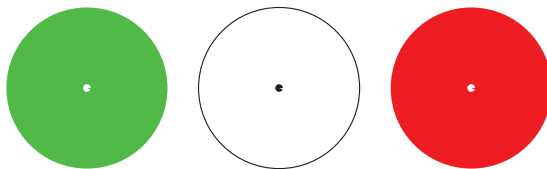
向井周太郎 著

価格 2500円+税

A5判変型 322頁

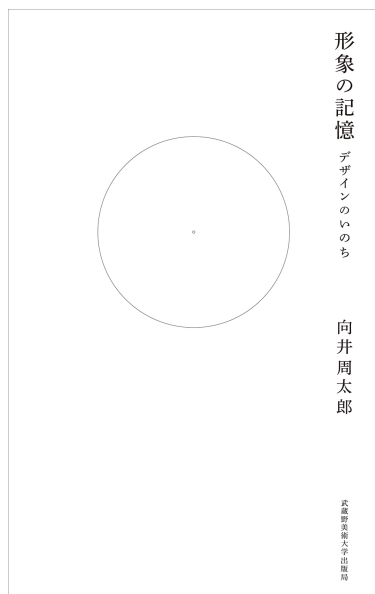
2021年2月10日奥付

ほんの少し太陽を見つめて目を閉じると、まぶたに残像が現れる。最初はオレンジ、やがてじわじわと別の色が広がり、その形はまるで蝶の翅にある眼状紋のようだ……私たちの身体の内には太陽が潜んでいる。「内」と「外」という「あいだ」に近代を読み解く博覧強記のデザイン論。パウハウス運動の原像(ウァピルト)をいかに継承し、変革(メタモルフォーゼ)させていくか、今日の課題に迫る。書き下ろし「生活としてのデザイン あいだに」詳細な図版解説を付して、『かたちの詩学』(2003年、美術出版社) 待望の再編復刊。



【著者プロフィール】 向井周太郎 (ムカイ・シュウタロウ)

1932年東京生まれ。デザイナー、デザイン教育者。早稲田大学大学院在学中にウルム造形大学に留学。豊口デザイン研究所等を経て、63-64年ウルム造形大学インダストリアル・デザイン研究所で研究開発と教育に従事。帰国後、武蔵野美術大学で基礎デザイン学科設立に従事、2003年より同大学名誉教授。著書に『デザイン学-思索のコンステレーション』(09年、弊社刊) ほか。



形象の記憶 デザインのいのち

向井周太郎

武蔵野美術大学出版局

【目次】

生知としてのデザイン あいだに
いのちの原像と変容

太陽残像

擬態 眼状紋の謎

負の擬態 迷像

両義像 意味の空隙

螺旋 全義像

大気 多義像

樹景 潜像

緑蔭空間 想起像

夢遊行 念像

観る 共感像

地景 遠近像

原像の崩壊

かたちの誕生 身振りといのち

あとがき—創造の恵みへの感謝のために
「内なる光」としての詩学 板東孝明
初出一覧

お 申 込 先

FAX : 0422-22-8309

お申し込み〆切日: 2021年 1月17日(日)

武蔵野美術大学出版局

TEL 0422-23-0810 東京・吉祥寺東町3-3-7 〒180-8566

●弊社取次会社は 日販・トーハン・楽天 BN 様です。

●〆切日を過ぎますと注文品扱いとさせていただきます。

FAX 案内不要の際はたいへんお手数ですが、その旨ご一報ください。
リスト削除にお時間がかかる場合がございます。

なにとぞご容赦くださいますようお願いいたします。

向井周太郎 著	武蔵野美術大学出版局	販売条件	貴店名	申込数
形象の記憶 デザインのいのち	新刊 2021年2月1日 取次様搬入予定	新刊委託 (〆切り後: 返条付注文)	価格 2,500円+税	冊
				ご担当者様
ISBN978-4-86463-116-7 C3070 ¥2500E				